

1. 犬山「子ども大学」の充実、発展にむけて

(特) 犬山しみんていの会コーディネイター

犬山子ども大学推進実行委員会委員長 川島典之

犬山子ども大学は、犬山市教育委員会が平成14年度から学校週休2日制への対応策として始めました。当会は、平成15年9月にNPO法人を取得した機会に、犬山市教育委員会へ提案を行い、それを受け入れてもらい平成16年度から委託を受け実施することになりました。

平成24年度は、22講座431人です。ここ数年やや受講者が減ってきていますが、これは児童・生徒数自体が減少してきていることとも関係があるものと考えています。(23年度21講座453名、22年度は22講座473名、21年度21講座408名、20年度22講座436名、19年度17講座362名、18年度18講座363名、17年度15講座287名、16年度13講座196名)

24年度の特徴は、「生き物探検隊クライマックス」が活動時間7時間を4回、「新冒険教室」では活動時間7時間を10回です。これが子ども達に与える貢献を今後よく見てゆきたいと思います。

私は、子ども達の世界から集団による遊びがなくなったことが、子ども達に大きな問題を引き起こしている主因と考え、その方策として子ども達に仲間との関わり方、友達づくりになることのできる機会を数多く作って来ました。この姿勢は今後とも変わることはありません。

当会では、子ども大学の講座を行う上で、次のことを大切にしています。

- 1 子ども達が、学校・家庭でできない体験することによって、感動と達成感を味わって欲しいこと⇒感動と達成感の場の提供
- 2 保護者及び多くの方に、体験活動＝“遊び“が、子どもの成長にとって”かけがえのない宝物“であることの普及をはかること⇒体験活動の大切さの普及
- 3 少子化社会の中で、各地域で子どもの健全育成を進めていく土壌づくりに寄与していくことができれば嬉しいと考えています⇒地域での青少年健全育成の場の拡充

参加者数が着実に増加していることは、保護者の方々が、私が考えている『子どもの将来にとって体験活動の大切さ』を十分理解して頂いていることの表れと考えています。

おわりに、子どもさんを送り出していただいた保護者の皆さんに心から感謝申し上げますとともに、この子ども大学にご協力いただいている指導員・講師の方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



☆平成24年度 活動成果発表会
平成25年2月3日(日)

2. 講座別参加状況

〔学校別〕

		楽田小	羽黒小	東小	南小	西小	北小	城東小	今井小	池野小	栗栖小	城東中	犬山中	東部中	南部中	市外小中	小計
犬山市委託																	
①	国際理解	7	2	2	3	3	7	11								1	36
②	お茶お花	1	1		3	5	5	3			3					1	22
③	生き物I AM	4	4		1	2	3	5								1	20
④	生き物I PM	3	5			1	1	3		2						1	16
⑤	生き物 探検隊II	7	1	1		1	1	1		2			1	1		2	18
⑥	電子工作	1		1	2	2	1	3		1		1				3	15
⑦	エジソン	5	3	3	5	1	6	5		1						1	30
⑧	武者 クラブ			1	2	1								1			5
⑨	楽しい 陶芸	1	1	8	1	5	2	4		1							23
⑩	囲碁将棋	1	3		1	4	2	1								3	15
⑪	伊勢型紙		1		2	3	2	10								2	20
⑫	絵画教室 AM	4	6	1	1	1	1	6	1							2	23
⑬	絵画教室 PM	2	2	3	2	2	5										16
⑭	和太鼓	1	2		2	5		3				1					14
⑮	押し花	5			7		5	4									21
⑯	原始人	7	4	3		1		4		2							21
⑰	レク スポーツ	11	1	3	2	2		4	3	2							28
⑱	冒険教室	2	2	2	4	2	3	1									16
⑲	自然教室 PM	7	1	2	6		2	2		1							21
小計		69	39	30	44	41	46	70	4	12	3	2	1	2		17	380
「RING! RING! プロジェクト」 競輪の補助事業																	
⑳	自然教室 AM		3	2	1	4	5	6									21
㉑	生き物 クライマックス	2	3	1		2	2	1				2	1		1		15
㉒	新冒険 教室	3	1		2		5			2		1			1		15
小計		5	7	3	3	6	12	7		2		3	1		2		51
計		74	46	33	47	47	58	77	4	14	3	5	2	2	2	17	431

〔学年別〕

		小学 1年	小学 2年	小学 3年	小学 4年	小学 5年	小学 6年	中学 1年	中学 2年	中学 3年	計
犬山市委託											
①	国際理解	5	11	4	9	5	2				36
②	お茶お花	1	9	2	2	3	5				22
③	生き物 I AM		11	9							20
④	生き物 I PM		2	9	1	3	1				16
⑤	生き物 探検隊Ⅱ			3	4	3	5	2	1		18
⑥	電子工作			1	5	7	1		1		15
⑦	エジソン	7	5	8	5	2	3				30
⑧	武者 クラブ			2		1	1	1			5
⑨	楽しい 陶芸	5	8	5		5					23
⑩	囲碁将棋	1	4	4	4	1	1				15
⑪	伊勢型紙	3	4	7	4	2					20
⑫	絵画教室 AM	5	7	7	3	1					23
⑬	絵画教室 PM	7	3	3		2	1				16
⑭	和太鼓			5	1	5	2	1			14
⑮	押し花	5	7	2	6	1					21
⑯	原始人				9	7	5				21
⑰	レク スポーツ	9	5	4	3	3	4				28
⑱	冒険教室			8	3	3	2				16
⑲	自然教室 PM	9	5	4	2		1				21
	小計	57	81	87	61	54	34	4	2		380
「RING! RING! プロジェクト」 競輪の補助事業											
⑳	自然教室 AM	10	6	1		4					21
㉑	生き物 クライマックス				3	2	6	2	1	1	15
㉒	新冒険 教室				5	3	5	1	1		15
	小計	10	6	1	8	9	11	3	2	1	51
	計	67	87	88	69	63	45	7	4	1	431

3. 各講座の紹介

<犬山市委託事業>

①国際理解 “料理と音楽で世界をつなごう！子ども外交官”

内容：お料理と音楽で、いろんな国の人と交流し、世界をまるごと体験。

夏休みには、ワールドジュニアキャンプ、ペルー領事館へも出かけ、子ども外交官になります。

回	月 日	内 容
①	6/16	ペルーの料理と文化
②	7/21	ブラジルの料理と文化
③ ④	8/4～8/5	宿泊交流会「みんなでシェイクハンド！ 届け世界に、被災地に！」
⑤	9/15	南米エクアドルの料理と文化
⑥	10/9	ペルー領事館 訪問
⑦	10/20	ロシアのマトリョーシカ作り
⑧	11/17	初めてのJAZZピアノ！ 音楽って、こんなにすてき！！
⑨	12/22	世界の食糧事情をクリスマスに体験しよう！
⑩	1/19	中国の手づくり餃子で旧正月を楽しもう

講師コメント

- 今年度も36名と大所帯で始まり、ペルー、ブラジル料理から始まり、最後恒例になった中国の手作り餃子での旧正月まで、本当に様々な体験をしてきました。
- 初めてロシア人をお招きしてのマトリョーシカ作りはとても好評で、みんな卵の殻のマトリョーシカを大事に大事にして持って帰る姿は、ほほえましい情景でした。
- お母さん達の心配をよそに、宿泊交流では伸び伸びと思う存分楽しみました。1年生の子だってちゃんと自分なりに一生懸命やっていました。そして、あの暑い中、石上げ祭にも参加し、頂上まで登りました。すご〜い！！
- そして、ペルー領事館を訪問。子ども達から、総領事を困らせるほどの沢山の質問をしてくれました。みんなの興味の大きさに領事館の人たちも喜んでいました。この犬山ならではのBigプログラムはこれからも、ずっと継続していきたいですネ！ペルーとの深い絆です。
- 「国際理解」は目に見えるものではありません。多くの体験が多様な人への理解を生み、子ども達の「心に大きな暖かい海」を作ることだと思います。そして、世界へ羽ばたく夢の応援が出来ることを、私たちは本当にうれしく思い、これからもこのプログラムと子ども達を大切にしていきます。



参加者感想

- 料理は大変だった。ブラジルなどの料理を食べてこんなにおいしいものを食べているんだ！と思った。国の様子や言葉が少しわかった。
- たくさんの世界とつながって話を聞いたり、料理を作って食べるのが勉強になるし、楽しいから好きです。
- ペルー総領事館では質問や握手出来たことが楽しかった。なかなか中に入ることが出来ないのでも機会になった。他にもいろいろな国の料理がたべられてよかった。
- いろいろの国のことをやるのでうれしいです。一番の思い出は、楽田ふれあいセンターで友達と一緒に泊まったことです。新しい友達が出来てよかったです。

②日本文化にふれよう！お茶・お花

内容：戸を開け、畳の上を歩き、床を拝見し、お菓子とお茶をいただき、お客様にお茶を出し、もてなしのマナーを学ぶ。お花を生けて、季節を楽しみ、命の大切さを学ぶ。

回	月 日	内 容
①	6/23	お茶の基本動作 戸の開け閉め、座り方、立ち方 畳の上の歩き方、お辞儀の仕方 お菓子・お茶のいただき方 お点前の基本練習
②	6/30	
③	7/7	
④	7/14	
⑤	7/21	
⑥	9/8	初めての生け花 楽しくお花とお話をしましょう (紙パックを使って)
⑦	10/13	草木の生きる力をみましょう 水上げの仕方 自然を慈しむ (花器、剣山を使って)
⑧	10/27	季節と遊ぼう 季節の花を覚えましょう のびのびと活けましょう (花器、剣山を使って)
⑨	11/10	生け花で「ありがとう」 プレゼントのお花 誕生日、お祝いなど
⑩	12/9	くらしの生け花 行事の花を活けましょう クリスマスのリース

講師コメント

- ・ なにごともなく、無事終わったことに、なによりも安堵しています。
- ・ 今年は余遊亭でしたので、少し心配していましたが、特別不便なこともなく終わりました。
- ・ ただ、他のイベントと重なったときは、車が混雑して、車の乗り降りに心配しました。父兄の方も困ったのではないのでしょうか。
- ・ 今年も良い子ばかりで、楽しくやらせていただきました。



参加者感想

- ・ お茶は歩き方を教えてもらったので楽しかったです。お花は名前を覚えてくれたから楽しかったです。
- ・ お茶は難しいところもあったけど、とても勉強になった。お花はきれいなお花を生けることが出来て楽しかった。
- ・ お茶は将来的に役立つ事ばかり学べて良かった。すごく楽しかった。お花は自分の思った通りに自由に活けられて個性が出ていいと思いました。楽しかったです。
- ・ お茶で日本の文化を知る事が出来て良かったです。歩き方やお茶の飲み方は難しかったです。お花では色々な花の種類が分かったり、並べ方が分かったので楽しかったです。
- ・ 先生方のもとで、普段行わないお茶、お花がとても楽しく学ぶことが出来ました。お茶では作法をじっくり学び、お菓子の食べ方など、日本の女性らしさも学ぶ事が出来ました。お花では、自分の気持ちを花で表わすのがとても難しかったです。毎回家の中が花の香りでいっぱいになり、気持ちが良かったです。友達とも毎回会えてとても楽しかったです。



③生き物探検隊 パートⅠ 午前の部

内容：昆虫採集や標本づくり、魚とり大会や生き物の飼育の仕方を勉強し、自然の基礎を学びます。

回	月日	テーマ	内容
①	6/24	トンボ講座	トンボについて知ろう！
②	7/23	昆虫採集	どんな虫が見つかるかな？
③	7/28	昆虫の標本作り	標本の作り方
④	8/12	魚の飼育セットを作ろう	ミニビオトープのしくみ
⑤	8/18	がさがさ大会	川の魚や生き物をとろう
⑥	9/15	苔玉をつくろう	苔玉の役割や、作り方、育て方
⑦	10/20	鳴く虫を捕まえよう	どんな鳴き声？
⑧	11/24	カブトムシ講座	カブトムシの一生と、飼育の仕方
⑨	12/15	ストーンペインティング	どんな石？ 何を描く？
⑩	1/19	冬眠している生き物を探そう	どんな生き物が見つかるかな？

講師コメント

- ・ 今年は春、初夏が寒く生き物達の活動も全体的に遅めでした。しかし、子供達も一生懸命山に川に突撃し、たくさんの生き物を発見したり勉強することができました。
- ・ 真夜中の昆虫採集では珍種のトゲナナフシをたくさん発見し、私自身が大興奮しました！毎日自然のことをやっている私でも初めての発見があります。自然とはとても奥深い物だと再認識しました。
- ・ 子供達にもこの興奮やロマンが少しでも伝わっていたらとても嬉しいと思います。
- ・ これからも生き物の名前や特徴だけでなくなぜ生き物が人間にとって大事なのか体験を通して伝えていきたいと思っています。豊かな犬山の自然を守っていくために！



参加者感想

- ・ 生き物の大切さを生き物クラブで初めて分った。これからはもっともっといろんなことを知って、いろんなことをやって、姉の知らないことまで知りたい。
- ・ コケにつけたり、虫を捕まえるのが難しい。
- ・ 生き物のことがよく分った。
- ・ いっぱい虫のことを知ってよかった。
- ・ 生き物を捕まえるのが楽しい。
- ・ 魚捕りがうれしかった。魚をいっぱい捕りたい。



④生き物探検隊 パートⅠ 午後の部

内容：昆虫採集や標本づくり、魚とり大会や生き物の飼育の仕方を勉強し、自然の基礎を学びます。

回	月日	テーマ	内容
①	6/24	トンボ講座	トンボについて知ろう！
②	7/23	昆虫採集	どんな虫が見つかるかな？
③	7/28	昆虫の標本作り	標本の作り方
④	8/12	魚の飼育セットを作ろう	ミニビオトープのしくみ
⑤	8/18	がさがさ大会	川の魚や生き物をとろう
⑥	9/15	苔玉をつくろう	苔玉の役割や、作り方、育て方
⑦	10/20	鳴く虫を捕まえよう	どんな鳴き声？
⑧	11/24	カブトムシ講座	カブトムシの一生と、飼育の仕方
⑨	12/15	ストーンペインティング	どんな石？ 何を描く？
⑩	1/19	冬眠している生き物を探そう	どんな生き物が見つかるかな？

講師コメント

- ・ 今年は春、初夏が寒く生き物達の活動も全体的に遅めでした。しかし、子供達も一生懸命山に川に突撃し、たくさんの生き物を発見したり勉強することができました。
- ・ 真夜中の昆虫採集では珍種のトゲナナフシをたくさん発見し、私自身が大喜びしました！毎日自然のことをやっている私でも初めての発見があります。自然とはとても奥深い物だと再認識しました。
- ・ 子供達にもこの興奮やロマンが少しでも伝わっていたらとても嬉しいと思います。
- ・ これからも生き物の名前や特徴だけでなくなぜ生き物が人間にとって大事なのか体験を通して伝えていきたいと思っています。豊かな犬山の自然を守っていくために！



参加者感想

- ・ カブトムシの標本を作るとき、カブトムシに針を刺すことが気持ち悪かった。でも標本が出来上がった時はすごくうれしかった。
- ・ 虫や魚を捕まえることが出来て楽しかった。また、家に持ち帰って育てるのもおもしろかった。
- ・ 生き物の繋がりや住み方が分かるととても楽しい。草食動物か肉食動物の区別や雄か雌の区別が分かるのでとてもおもしろいです。
- ・ もっと虫に興味を持った。



⑤生き物探検隊 パートⅡ

内容：自分で竿を作って魚をつったり、真夜中に昆虫をとったり、川の生態調査、爬虫類や両生類など少し専門的な自然体験を経験します。

回	月日	テーマ	内容
①	6/16	隊員バンダナを作ろう	植物で染める
②	6/17	エビ、魚とりマシーン	作り方・仕掛けのエサ
③	7/7	両生類について知ろう！	両生類とは？・両生類が住める環境
④	7/28	真夜中の昆虫採集	昆虫採集の仕方（ライトトラップ）
⑤	7/29	クワガタムシ講座	クワガタの取り方・飼い方
⑥	8/4	釣りざおを作ろう！	釣りざおの作り方
⑦	8/5	釣りをしてみよう！	釣りの仕方
⑧	8/25	爬虫類について知ろう！	爬虫類とは？・爬虫類が住める環境
⑨	9/2	川の上流の生き物調べ ※協力:入鹿森林愛護組合	上流の川の特徴
⑩	10/21	川の中流の生き物調べ	中流の川の特徴

講師コメント

- ・ 今年は春、初夏が寒く生き物達の活動も全体的に遅めでした。しかし、子供達も一生懸命山に川に突撃し、たくさんの生き物を発見したり勉強することができました。
- ・ 真夜中の昆虫採集では珍種のトゲナナフシをたくさん発見し、私自身が大喜びしました！毎日自然のことをやっている私でも初めての発見があります。自然とはとても奥深い物だと再認識しました。
- ・ 子供達にもこの興奮やロマンが少しでも伝わっていたらとても嬉しいと思います。
- ・ これからも生き物の名前や特徴だけでなくなぜ生き物が人間にとって大事なのか体験を通して伝えていきたいと思っています。豊かな犬山の自然を守っていくために！



参加者感想

- ・ 爬虫類や両生類について詳しく教えてくれるから楽しい。
- ・ 講座を通して自然のことや、昆虫、植物、生き物が生きていける環境がわかり、心に残った。
- ・ 普段出来ない体験や生き物の勉強をたくさんする事が出来てとても楽しい。僕たち子どもが生態系を守るために、これからも自然を大切にしていかなければいけないと思いました。
- ・ いろいろな生き物が見る頃が出来てうれしかった。これからも先生から教えてもらったことで、生き物を大切にしていきたい。
- ・ 普段やれないこと、竹竿作りに夜のライトアップ、夜の昆虫採集など、みんなで楽しくできていい。



⑥サイエンス 電子工作

内容：電子工作の勉強から実技。古い真空管を使ったラジオ制作の分解から組み立て、ワンチップマイコン使用・電子サイコロ、ゲームを作って勉強します。

回	月 日	内 容
①	6/23	・電子工作に必要な基礎 部品の動作 テスターの使用法など ・ひとり1台テスターを作る ・静電気モーター作り ・音が出るコンピュータを使った工作
②	6/30	
③	7/7	
④	7/21	
⑤	8/10	
⑥	9/1	
⑦	9/8	
⑧	9/15	
⑨	11/17	
⑩	12/15	

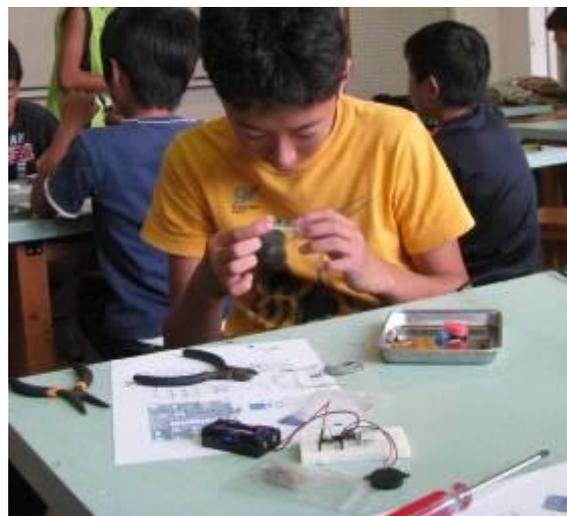
講師のコメント

- ・ 皆さん昨年度の子ども大学はどうでしたか？
- ・ 尖閣列島問題で中国の関係悪化で予定した部品が入荷しませんでした。
- ・ 急遽、予定変更しましたが、喜んでもらえるような内容変更で代替えとしました。
- ・ アイデアと作る物も大変でしたが、皆さんが楽しめるような講座内容にしていきたいです。
- ・ 来年度は、音を楽しむマイコン使用のアイデア講座を予定していますので、みなさんの参加をお待ちしています。



参加者感想

- ・ ハンダが難しい。でも楽しい。
- ・ 思ったより結構難しい。
- ・ ハンダ付けが難しい。難しいけど出来たときは達成感があった。



⑦君も エジソンに なる!

内容：子ども達の思考力・想像力・協働力を引き出すため、(自然・化学・リサイクル) を応用して1人で作るもの(レンジ・ロボット・ロケット)、みんなで作るもの(ソーラーカー、イカダ・ホバークラフト)などを作る。まちがえてもいいから、自分のチカラでつくろう!

回	月 日	テ ー マ	内 容
①	6/23	太陽はあつい	ソーラーレンジ
②	7/7	光はすごい	ソーラーカー
③	7/28	光はすごい	ソーラーカー組み立て
④	8/4	光はすごい	ソーラーカー運転
⑤	8/25	水のちから	ペットイカダ
⑥	9/8	水のちから	ペットイカダレース
⑦	10/27	あるくかな?	ロボットづくり
⑧	11/3	空気のちから	ペットロケット
⑨	12/1	空気のちから	ホバークラフト
⑩	1/26	風にのろう	鳥凧・江戸凧づくり

講師のコメント

- ・「光のちから」のソーラーカーのグループ制作が進む段階で理解度と意欲の差で作業ペースに差が出たが、それぞれの分担がだいたい解るようになり、しっかり作り上げることができた。
- ・ペットボトルイカダでは、作業の進行状態が、協力できているチームと協力できていないチームで大きな差が出た。それがイカダレースでも結果として表れていた。
- ・また、最初ほうまく発言できなかつたり、みんなの輪に入れずにいた子が、少しずつ自身をつけてきて、みんなと一緒に話しながら作業できるようになっていた。
- ・ロボット作りでは解らないところを、周りの子ども達が教えあつたりして、助け合っていた。
- ・ホバークラフトでは、チームのまとまりが良くなり、自分たちで直しながら遊んでいた。
- ・ペットロケットや凧あげは、天候に振り回されたところもあったが、各自自分で工夫し、何度も自分で納得いくまでチャレンジしていた。
- ・講座の目的どおりに、子ども達の心の力がひとまわり大きくなっていった。



参加者感想

- ・回を重ねるにつれてどんどん楽しくなってきました。
- ・とても楽しかったです。来年もやりたいです。

⑧子ども 武者クラブ

内容：学年に応じた、かぶと、刀をつくり、犬山の武者行列に参加しよう。

回	月 日	内 容
①	7/7	眉比差し型紙写し、裁断カット張り合わせ
②	7/21	第一しころ穴転写あけ、吹き返し部折り曲げ
③	7/28	塗装、刷毛塗り、吹きつけ、乾燥
④	8/4	眉比差し、吹き返し塗装、兜受け張りの縫製
⑤	8/11	前立て製作、受け張りの取り付け
⑥	8/18	組み立て開始、糸威し
⑦	8/25	組み立て、糸威し
⑧	9/1	試着
⑨	9/8	太刀作り
⑩	9/15	太刀作り
⑪	9/29	太刀作り
⑫	10/13	甲冑工房見学

講師コメント

- ・ 今年も兜と太刀作りをしたが、日程12日間で型紙から厚紙の転写・裁断を全てのパーツ作っていると、とても間に合わないことが昨年わかった。
- ・ 今回は、ある程度のパーツは事前に用意しておいたので、子ども達に物づくりの基本である鋏・刃物・工具類の使い方などをあまり教える機会がなくて申し訳ないと思っている。
- ・ 太刀作りでは、簡単に作る方法を思いついたので取り入れたところ、みんな順調に仕上がり、きれいに出来たので良かったと思う。
- ・ 想えば3年間だけの武者クラブであったが、制作方法には1年1年工夫を重ねて作り方・材料にしてもいい方向に進んできたと思う。
- ・ 今では、他市町村からの作り方の指導依頼がある。やってよかったと思っている。



参加者感想

- ・ 刀の持つところが、難しかったです。
- ・ おもしろそうと思って入ったけど、やっぱりおもしろかったです。



⑨はじめての 楽しい陶芸

内容：基本の作り方を学び、それを利用し、子ども達の作りたいものを作る。また、共同製作では子ども達にそれぞれのアイデアを出し合って、楽しく作業することを体験してほしい。

回	月 日	タイトル	内 容
①	6/9	基本を学ぶ	茶碗をつくる
②	6/23		茶碗の仕上げ
③	7/7		花瓶をつくる
④	7/21		花瓶の仕上げ
⑤	8/4		タタラでつくる
⑥	8/25	共同制作	グループ制作
⑦	9/8		
⑧	9/15		
⑨	10/13	絵付け	
⑩	11/10	完成品発表会	

講師コメント

- ・ 早いもので3年目の講座が終了しました。今年もたくさん子ども達に陶器作りをしてもらいましたが、難しい作業を、みんな楽しそうに体験していて良かったと思います。
- ・ 陶器は完成品を目にするまでに、早くても1ヶ月は必要で、なかなか、やわらかい粘土と硬い完成品が繋がらず、みんな戸惑っているようでしたが、夏休みに完成するご飯茶碗を目にすると、とても嬉しそうにしてくれました。
- ・ 中には、次の講座の時に「すぐこれで、ご飯食べたよ!」とってくれた子ども数人いました。
- ・ みんな飾ったり、使ったり、色々楽しんでくれているみたいでとても嬉しく思います。
- ・ 来年はどんな子ども達が来るのだろうと、楽しみもありますが、とにかく、みんなありがとう。



参加者感想

- ・ すごく楽しいし、陶芸はあまり出来ないから出来てすごく嬉しかったです。陶芸は初めてだったので、早くやりたいなと思っていました。
- ・ 自分が作りたい物が作れたのでよかったですし、作り方が簡単でよかったです。
- ・ やり始める前は、簡単そうだったけど、やってみたら思ったより難しかったです。私はお皿が土で出来ているなんて知りませんでした。土で出来ていることを知ってびっくりしました。
- ・ 出来あがった時とても嬉しかったです。
- ・ お茶碗の作り方を覚えました。かびん作りも覚えました。



⑩囲碁・将棋たいけん教室

内容：日本の代表的なゲームである囲碁・将棋をたいけんし、自分で工夫する楽しさを味わい、友達づくりに寄与する。

回	月 日	内 容
①	6/10	<ul style="list-style-type: none"> 対局するときのマナーについて 初心者に対して、対局の始め方、終わり方、基本ルールの説明 各自の希望や目標についての聞き取り 必要に応じてクラス分けを実施
②	6/24	各回の進め方 <ul style="list-style-type: none"> 前半は、囲碁・将棋それぞれの基本型についての解説や、次の一手問題・詰碁・詰将棋問題の検討および解答を行う。 後半は、実戦対局、順次指導対局を行う。 基本型<囲碁> ・石の取り方 ・石の生き死に ・コウと禁じ手 ・地の計算の仕方 基本型<将棋> ・駒の特徴 ・王の囲い方 ・戦い方、禁じ手 等
③	7/8	
④	7/22	
⑤	8/5	
⑥	8/19	
⑦	9/9	
⑧	9/23	
⑨	10/14	
⑩	10/28	
⑪	11/11	
⑫	11/25	
⑬	12/9	

講師コメント

- ・ 今年、将棋の参加者10人のうち7人が低学年で始めての子が多かった。犬山市外からも2名の参加があった。囲碁の参加者は、5人のうち低学年は2人だった。
- ・ 今年はず年度より、将棋の参加者が半減したので、講座中に遊びまわる子もいなくて、十分な学習が出来たと思います。
- ・ 全部で8校の小学校から参加してきたので、他校の子ども達同士の交流もよく行われて、みんな仲良くなっていた。



参加者感想

- ・ みんなでやれるし強くなっている気がするので、もっと行きたい。とっても楽しい。
- ・ 本の内容でいろいろな事が覚えられてよかった。
- ・ 6年生と戦って負けたけど楽しかった。
- ・ どんどん分かるようになって良かった。



⑪伊勢型紙 彫りと染め

内容：子どもさん向けの型紙づくり、染めは刷毛を使った染めものです。

子ども達がかんたんな絵を描いたものを、型紙にすることも教えます。型紙を、色紙に貼ったり、染めにも使います。

回	月 日	内 容
①	6/16	染め コースター 大：2 小：3
②	6/23	染め ふきん 花や蝶(ちょうちょ)の柄
③	6/30	彫り 好きな絵を描いて型紙にする①
④	7/7	彫り 好きな絵を描いて型紙にする②
⑤	7/14	染め 小袋に染める
⑥	8/11	染め 書類入れ袋に染める (ひまわり, ばら)
⑦	8/25	彫り とんぼ, あさがお
⑧	9/8	彫り もみじ
⑨	9/29	染め タペストリー 好きな型紙を使います
⑩	10/20	染め サンタ, ベル, ミッキー, 柵, 南天

講師コメント

- ・ 学校行事がそれぞれあり、時には半数以上の欠席の日もあり、大変だったこともありました。
- ・ 伝統工芸を理解してくれる子がいて、3年間も続けてくれているのには、大いに感謝の気持ちでいっぱいです。

参加者感想

- ・ やったことがなく出来るか心配だったけど、出来たのでよかった。いろいろな作品を作るのは楽しい。先生の教え方がすごく上手だったのですぐ出来た。
- ・ 思ったより楽しかった。カッターナイフで切ったり、色を塗ったりするとは思わなかった。楽しい。
- ・ コスモスや牡丹などきれいな花をたくさん練習でき、ありがとうございました。



⑫絵画教室 午前の部

内容：めずらしい物をかくとおもしろい。初めてのかき方でやると楽しい。
みんながちがう。ちがうからおもしろい。

回	月 日	テ ー マ	内 容
①	6/23	いわしとしいたけ	色紙に「いわし」と「しいたけ」をかく
②	7/7	自分の体	大きな紙に自分の体をうつしとる 家の人に手伝ってもらって一緒にかく
③	7/21	自分の体	色を付けてくわしくかいて完成する (前回と同じ服や靴)
④	8/4	Tシャツのデザイン	Tシャツに染料で自分らしくデザインをする
⑤	8/25	自分の顔	鏡をのぞいて自分の顔を楽しく描く おもしろい顔 怖い顔 変な顔
⑥	9/8	犬山城	犬山城の良さを、丁寧に自分らしくかく
⑦	10/20	キャラクター	自分の好きなテレビや雑誌の人気キャラを楽しくかく
⑧	11/4	市民展の見学	みんなで市民展の作品を鑑賞する
⑨	12/15	するめ	するめをそっくりにうつして、おいしそうにかく
⑩	1/12	ピカソに挑戦	ピカソになった気分で、面白くかく

講師コメント

- ・ とくに低学年が目についたが、熱心に参加し、中には親も一緒に絵を描いていたところが見られた。
- ・ 題材もバラエティに富み、10回の講座が毎回新鮮な気持ちでやれた。
- ・ 活動成果発表会は9番目でちょっと心配したものの、出番があるため最後まで緊張した気持ちを子ども達が持ち続けられた。
- ・ 展示にはパネル9枚をいただき、作品量とスペースがちょうど上手くはまったようです。



参加者感想

- ・ 大きな紙に自分の体を描くのが初めてだったので楽しかった。自分の顔を鏡で見て描くことがいつもと違う描き方で楽しかった。
- ・ 服に絵を描くとおもしろいってわかった。



⑬ 絵画教室 午後の部

内容：めずらしい物をかくとおもしろい。初めてのかき方でやると楽しい。
みんながちがう。ちがうからおもしろい。

回	月 日	テ ー マ	内 容
①	6/23	いわしとしいたけ	色紙に「いわし」と「しいたけ」をかく
②	7/7	自分の体	大きな紙に自分の体をうつしとる 家の人に手伝ってもらって一緒にかく
③	7/21	自分の体	色を付けてくわしくかいて完成する (前回と同じ服や靴)
④	8/4	Tシャツのデザイン	Tシャツに染料で自分らしくデザインをする
⑤	8/25	自分の顔	鏡をのぞいて自分の顔を楽しく描く おもしろい顔 こわい顔 変な顔
⑥	9/8	犬山城	犬山城の良さを、丁寧に自分らしくかく
⑦	10/20	キャラクター	自分の好きなテレビや雑誌の人気キャラを楽しくかく
⑧	11/4	市民展の見学	みんなで市民展の作品を鑑賞する
⑨	12/15	するめ	するめをそっくりにうつして、おいしそうにかく
⑩	1/12	ピカソに挑戦	ピカソになった気分で、面白くかく

講師コメント

- ・ とくに低学年が目についたが、熱心に参加し、中には親も一緒に絵を描いていたところが見られた。
- ・ 題材もバラエティに富み、10回の講座が毎回新鮮な気持ちでやれた。
- ・ 活動成果発表会は9番目でちょっと心配したものの、出番があるため最後まで緊張した気持ちを子ども達が持ち続けられた。
- ・ 展示にはパネル9枚をいただき、作品量とスペースがちょうど上手くはまったようです。



参加者感想

- ・ 私はもともと絵をかきことが好きでした。それでこども大学の「絵画教室」があったので選びました。楽しいです。
- ・ 絵画教室でもっと自分の絵を上手にしていきたいです。絵画教室は、とても楽しいです。



⑭和太鼓を たのしく たたこう

内容：日本の伝統楽器の和太鼓を学んで、たのしく演奏しよう！

回	月 日	内 容
①	6/9	小太鼓を使って 楽しくたたこう 楽譜の種類を知ろう
②	7/21	大太鼓を使って 楽しくたたこう 太鼓の種類を知ろう
③	7/29	大太鼓、小太鼓を使って リズムを覚えよう 口唱歌を覚えよう
④	8/11	大太鼓、小太鼓を使って リズムを覚えよう いろんな、たたき方を覚えよう
⑤	8/18	大太鼓、小太鼓を使って リズムを覚えよう いろんな、たたき方を覚えよう
⑥	9/8	基礎打ちの練習 ほうねん太鼓を練習しよう
⑦	9/29	基礎打ちの練習 ほうねん太鼓を練習しよう
⑧	10/20	基礎打ちの練習 ほうねん太鼓を練習しよう
⑨	11/10	基礎打ちの練習 ほうねん太鼓を練習しよう
⑩	12/15	笛や鳴り物と合奏しよう
⑪	12/22	発表会での披露曲の練習
⑫	1/19	発表会での披露曲の練習
⑬	1/27	発表会での披露曲の練習

講師コメント

- ・ 1年間ケガもなく終了できました。
- ・ 子ども達から色々教えられることがあり、自分自身の成長の糧ともなりました。
- ・ 小太鼓を貸し出したのも、良い結果に繋がったと思います。
- ・ 保護者の方にも一緒に太鼓の練習が出来るように工夫してよかったですと思いました。

参加者感想

- ・ 前に違う先生の和太鼓はやったことあるけど、大太鼓しかなくて、今年は小太鼓もあって、両方出来るからとても楽しいです。前よりも太鼓がうまくなった気がします。
- ・ 和太鼓は何度も叩くので腕が痛くなる。先生の真似をするのが難しい。



⑮押し花で ものづくり

内容：日常生活の中に押し花を取り入れ、花にふれることによって、心の豊かさ、やさしさを
感じ取ってほしい。

回	月 日	内 容	ね ら い
①	6/16	名札・定規	ピンセット・ボンドの使い方
②	7/7	ポーチ付き手帳	きれいな押し花がどうやって出来るかを学びます
③	7/21	クリアファイル	予定表やお知らせをはさんで役立てましょう
④	7/28	マグネットシート	ポストカードやお知らせをきれいに飾りましょう
⑤	8/11	花のコースター	テーブルを明るく、楽しくしてくれます
⑥	8/25	ミニティッシュケース・マグネット	お部屋飾りのワンポイント
⑦	9/15		
⑧	9/29	色紙に押し花を！	ウェルカムボードなど、各自で思いおmoiの ものを作ります
⑨	10/13	押し花でおひな様	3月をお楽しみに
⑩	11/10	予備日	これまでの補講をします

講師コメント

- ・今年度も昨年度に続き、低学年が多く、受講者21名中低学年12名で高学年1名でした。内容の説明時間を多めにして制作の速度をゆっくりとすることを心がけました。
- ・定規を使っての作業に低学年は少々苦戦しました。「10cmずつ切ってください」などの計り方が分からないなどの質問が多く、手助けの時間を多く取りました。
- ・しかし、中学年がより完成度を高めようと時間をかけ、ゆっくり制作しているのと比較すると、低学年は決断が早く、手早く完成させる傾向を感じました。
- ・時間内に全員作品が出来上がりました。ハサミやピンセットの使い方もなれてきて、1人もケガすることなく、1年が無事終わりました。
- ・保護者の皆様からも毎回、きれいな作品を持ち帰るのが楽しみですと言っていました。



参加者感想

- ・押し花を作るときに空気を入れないようにするのが難しい。花を置くときに息をしないようにするのが難しい。楽しかった。
- ・いろいろな物が飾れてきれいなので飾るのが楽しくなった。
- ・友達が楽しそうにやっていたから参加しました。やってみたらすごく楽しいので来年もやってみたい。
- ・押し花を使っていろいろな物を作るのがワクワクする。初めはドキドキした。
- ・押し花がとてもきれいだった。



⑩犬山原始人クラブ

内容：火おこしや縄文土器、石器など物づくりを通し、昔の人の知恵や技術を今の私たちの生活に生かし、たくましく生きる力を身につける。

回	月日	内 容
①	6/2	オリエンテーション マイギリ式火おこし器作り
②	6/30	火おこし大会
③	7/15	森の生き物を調べる & 板取川で泳ぐ
④	7/28	青竹でパンを焼く & 板取川で泳ぐ
⑤	8/4	縄文土器作り & 板取川で泳ぐ
⑥	9/8	石器作りと、石での火おこし体験 & 板取川で泳ぐ
⑦	10/13	わらぞうり・竹の水筒作り
⑧	10/21	縄文土器の野焼き & 空き缶ライス・五平餅作り
⑨	11/3	中山道妻籠宿を歩く
⑩	11/24	つる籠作り

講師コメント

- ・ 参加児童の保護者が非常に協力的で、特に板取川での川遊びの時は、多くの方に監視や補助を頂けた。他の活動でも手助け頂けて助かった。
- ・ 活動時間の内、物づくりの時間がほとんどとなるが、子ども達はとても集中して取り組んだ。色々な道具を使い、ケガを心配したが、皆無に近い状態で、子ども達はしっかりと匠になった。
- ・ 猛暑の夏は「高林工房・森の学校」で活動した。浅い寺尾川ではアカザやサワガニを捕まえたりした。板取川では、4回泳いだ。大岩の上から飛び込む子ども達の姿にたくましさを感じた。
- ・ 中山道妻籠宿の江戸時代のような街並みを、ワラジをはき、竹の水筒を持ち、昔の出で立ちで歩いた子ども達は多くの事を学んだ。体験の中で一番人気があった。
- ・ 子ども達は他校の子とも仲良くなり、人との関わり合いを持ちながら活動することが出来た。予想以上に楽しい雰囲気になった。



参加者感想

- ・ 初めてやってみたことだから最初はどきどきしたけど、だんだん活動に慣れてきて、すごく楽しかったです。
- ・ わからない事がだんだん分かるようになって、おもしろかった。
- ・ つかれたけど、すごくおもしろかったし、楽しかったです。
- ・ 昔の事がよく分かり、楽しくて、友達も出来て良かったです。
- ・ 火おこしのコツがつかめなかったです。どれも普段やれない事ばかりで、楽しかったです。毎回と一っつも楽しみで、ワクワクしていました。

⑰レクスポーツ “もっと遊ぼうぜい！”

内容：なかまをつくろう！ なかまとあそぼう！なかまと楽しもう！
おもしろスポーツをきわめましょう。

回	月 日	内 容
①	6/23	よろしく！！のゲーム
②	7/7	ドッチビー・バグゴ・チャレンジ ザ ゲーム
③	7/21	ドッチビー・バグゴ・チャレンジ ザ ゲーム
④	8/11	ドッチビー・バグゴ・チャレンジ ザ ゲーム
⑤	8/25	ドッチビー・バグゴ・チャレンジ ザ ゲーム
⑥	9/8	ドッチビー・バグゴ・チャレンジ ザ ゲーム
⑦	9/29	ドッチビー・バグゴ・チャレンジ ザ ゲーム
⑧	10/13	ドッチビー・バグゴ・チャレンジ ザ ゲーム
⑨	10/27	ドッチビー・バグゴ・チャレンジ ザ ゲーム
⑩	11/10	ドッチビー・バグゴ 記録会

講師コメント

- ・ 本講座のねらいは、「楽しく体を動かし、体力向上を図る。」「皆で協力し、できたことの喜びを味わう。」の2つである。これらのねらいを達成するため、本講座では、例年通りの『チャレンジ・ザ・ゲーム』を行った。
- ・ このレクリエーションスポーツの特徴は、「結構運動量がある。」「内容が比較的簡単であるので、練習を積み上げれば上達できる。」「参加するグループ全員が協調することが必要である。」という3つである。そのため、小学校1年生や2年生の子どもでもがんばればできるし、上達もしていく。上達すれば、達成感も生まれ自己肯定感が高まる。
- ・ 一方で、現代の子どもたちは、みんなで協力するということがとても苦手なようである。
- ・ そこで、10回の講座を通して、競技するグループが協力できるように、「声を掛け合うこと」「励まし合うこと」「失敗しても責めないこと」「互いに教え合うこと」を繰り返し繰り返し子どもたちに指導した。また、競技が上達したときには、即座に認め、共に喜んだ。
- ・ その結果、子どもたち皆が、協力して競技に取り組み、「みんなのできたとき」「みんなが上達できたとき」、子どもたちの喜びや成成感は、とても大きなものであった。
- ・ 今後も、子どもたちに、この感動を味わってもらえるように、支援していきたいと思う。



参加者感想

- ・ 他の学校の子と知り合った。行くのが楽しいと思った。得意なことと苦手なことがわかった。協力した。
- ・ 5年間ずっとやっておもしろかった。また、カローリングをやりたい。
- ・ 楽しくて来年もやりたいし、教え方も優しくしてくれて嬉しかった。友達がいっぱいできて良かったです。
- ・ できなかった事が少しずつなんだけど“できるよう”になったので良かったです。

⑱冒険教室

内容:山登り、川遊び、キャンプにゲーム。遊びやグループ体験を通じて、自信を持ったり、仲間づくりをしましょう。自分自身に向けた小さな冒険のはじまりです。

回	月日	内 容
①	6/17	「コミュニケーションチェック」緊張をときほぐす遊び。
②	7/8	「フィールド探検 ～森～」 森を探検しよう。
③	7/22	「助け合いのゲーム1」 人の話に耳を傾けよう。
④	8/5	「フィールド探検 ～森～」 河原を探検しよう。
⑤	8/19	「助け合いのゲーム2」 協力して問題解決。
⑥	9/2	「ナイフテクニク」 キャンプに向けた活動。(火、ナイフとの付き合い方など)
⑦	10/13	「フリーキャンプ(宿泊)
⑧	10/14	何をするのか自分達で決める、1泊2日の冒険の旅。
⑨	11/18	「小さな火のワーク」 自分だけの火を作る。
⑩	12/16	「大きな火のワーク(ふりかえり)」 協力して大きな火を作る。

講師コメント

- ・ 今年女子が多く、少ない男子は殆どが3年生であったため、グループのリード役は多くの場面で女子が行っていました。
- ・ 新・冒険教室という上級クラスがスタートしたため、そちらに引張られる格好で、従来の冒険教室の内容がハードになったような印象は否めません。3年生に関しては、付いてくるのに精一杯だった子がいるかも知れませんね。
- ・ 来年度はその反省を踏まえ、しっかりとした差別化を図り、もっともっとチームワークを育むことができるような取り組みをしたいと思います。
- ・ 2泊3日の合宿も、これまでとは違った新たな挑戦となるため楽しみでもあり、身の引き締まる感じもします。



参加者感想

- ・ キャンプでいろいろなことをして楽しかった。
- ・ 火の熾し方を教えてもらい、火を熾せてよかった。
- ・ すごくいい体験になり未来に生かそうと思った。
- ・ 色々な体験ができるのでとても楽しいです。



⑱子どもの自然教室 午後の部

内容：身近な森へ入って、野原や川で遊んで、採って、食べて、香って、作って、染めて……。犬山の自然をいっぱい感じてみよう！ 「自然と共に暮らす」が今年のテーマです。

回	月日	テーマ	内容
①	6/16	初夏の森たんけん	はじめまして仲間と、森と出会う
②	7/7	飛ぶタネのひみつ	タネが飛ぶ不思議を体験
③	7/21	セミのナゾをとけ	セミ笛を作って遊ぶ
④	8/4	川ガキになる ※協力:入鹿森林愛護組合	川遊び、魚釣り
⑤	8/18	夏の虫をさがして	夏、最後の虫を探しに森へ行こう
⑥	9/1	まが玉づくり	石を削って、研いで、石に触れ、石を宝物に
⑦	10/27	葉っぱで染物	身近な植物で染める
⑧	11/17	葉っぱを食べてみよう	野草食にチャレンジだ
⑨	12/9	森の恵みでものづくり	自然素材で飾りを作る
⑩	1/19	森のコンサート	森に感謝

講師コメント

- ・ 自然の中で行うことはまず第一に、心が解放され、そうした状態においては、人の話を受け入れることが容易になる。
- ・ 実物を見て、感じたことを、こんどは工作や絵に描くことによってその原理に触れさせる。そうすれば自ずと理解が深まる。
- ・ まさに、「聞いたことは忘れる。見たことは思い出す。体験したことは理解する。発見したことは身に付く」である。
- ・ 身近な川には生き物がたくさん生息しており、すぐ足下の草からは綺麗な染料がとれる。石を磨けば宝石になり、竹は立派な楽器になる。目を輝かせて活動していた子どもたちは、やがて大きくなり、次の世代にその輝きを伝えてくれることを期待する。

参加者感想

- ・ 楽しいです。知らない虫を覚えたり、山の中に入っているいろいろなことを知って勉強になりました。
- ・ かぜさんと一緒にいる時間がすごく楽しい。
- ・ 種だと思わなかった物が種だったのでびっくりした。
- ・ 石のペンダントを作ったのが楽しかった。
- ・ 色んな山や川の自然が知れてうれしいです。



<「RING! RING! プロジェクト」 競輪の補助事業>

①子どもの自然教室 午前部

内容：身近な森へ入って、野原や川で遊んで、採って、食べて、香って、作って、染めて・・・。
犬山の自然をいっぱい感じてみよう！ 「自然と共に暮らす」が今年のテーマです。

回	月日	テーマ	内容
①	6/16	初夏の森たんけん	はじめまして仲間と、森と出会う
②	7/7	飛ぶタネのひみつ	タネが飛ぶ不思議を体験
③	7/21	セミのナゾをとけ	セミ笛を作って遊ぶ
④	8/4	川ガキになる ※協力:入鹿森林愛護組合	川遊び、魚釣り
⑤	8/18	夏の虫をさがして	夏、最後の虫を探しに森へ行こう
⑥	9/1	まが玉づくり	石を削って、研いで、石に触れ、石を宝物に
⑦	10/27	葉っぱで染物	身近な植物で染める
⑧	11/17	葉っぱを食べてみよう	野草食にチャレンジだ
⑨	12/9	森の恵みでものづくり	自然素材で飾りを作る
⑩	1/19	森のコンサート	森に感謝

講師コメント

- ・ 自然の中で行うことはまず第一に、心が解放され、そうした状態においては、人の話を受け入れることが容易になる。
- ・ 実物を見て、感じたことを、こんどは工作や絵に描くことによってその原理に触れさせる。そうすれば自ずと理解が深まる。
- ・ まさに、「聞いたことは忘れる。見たことは思い出す。体験したことは理解する。発見したことは身に付く」である。
- ・ 身近な川には生き物がたくさん生息しており、すぐ足下の草からは綺麗な染料がとれる。石を磨けば宝石になり、竹は立派な楽器になる。目を輝かせて活動していた子どもたちは、やがて大きくなり、次の世代にその輝きを伝えてくれることを期待する。

参加感想

- ・ 楽しいです。知らない虫を覚えたり、山の中に入っているいろいろなことを知って勉強になりました。
- ・ かぜさんと一緒にいる時間がすごく楽しい。



②生き物探検隊 クライマックス

内容：生き物探検隊パートⅠ・パートⅡの両方、又はどちらかに参加した人のみが、参加できます。
これで君も『生き物博士』だ！

回	月日	テーマ	内容
①	6/23	砂浜の生き物観察	砂浜の生き物の役割
②	6/30	貝殻標本とストラップ作り	標本とストラップの作り方
③	7/8	犬山の生き物探索	犬山の自然の特性
④	7/15	岐阜の山探索	犬山と岐阜の自然環境のちがいを
⑤	8/26	海の魚を釣ってみよう	釣り方、どんな魚が釣れるか？
⑥	9/1	日本の淡水魚探索	なぜ、岐阜の川には魚が多いのか？
⑦	10/14	キノコ講座	キノコってなに？ キノコの役割
⑧	10/27	エビ・カニ教室	エビやカニの見分け方と住める環境について
⑨	11/11	植物で作品づくり	飾りの作り方
⑩	11/18	守れ犬山の自然！	川を良くするためには？

講師コメント

- この講座は生き物パート1からパート2からのレベルアップ講座であり、主に犬山市の自然を学習した上で、犬山にはない自然体験・学習を目的としたものである。
- バスを使って海山川と様々な環境にでかけることで、犬山との自然の比較を行う。
- 参加者からは初めて見る生き物や環境に「感動した」「すごい」などの声があがりさらに生き物に興味関心が沸いたと実感できた。
- またそれと同時に犬山市には独特の貴重な自然があるんだということを、体験を通して認識でき、地元の自然を大切にすることの重要性について大きな効果があったと思われる。



参加者感想

- 今までにない楽しさやうれしさがあるので、受講して良かった。学校では習えないことも分かるのでとてもうれしい。
- この講座はすごく楽しい。楽しいだけでなく参加していなければ分からないこともたくさん学べます。
- みんなと協力して行う時も多いので、友達もたくさん出来次回が待ち遠しいです。
- 家では連れて行ってもらえない場所や自分だけでは出来ないことも体験できるし、先生や他の大人もすごく楽しくいろいろなことを教えてくださいるのでこの講座が大好きです。



③新冒険教室

内容：リュックに衣食住を詰めこんでバックパッキング、川の源流探索、ダンボールいかだでの川渡りなどなど、サバイバルの要素いっぱいのキャンプです。 さあ、冒険の旅に出発しよう！

回	月日	テーマ	内容
①	7/29	チームビルディング ～冒険の始まり～	初めて出会う仲間と、チームづくりの旅に出よう。
②	8/23	チャレンジキャンプ	チームに分かれて難題にチャレンジ。きみはクリア出来るか。
③	8/24	～ダンボール筏～	
④	9/9	源流探索	川をさかのぼってみよう。
⑤	10/28	サバイバル術 1	ナイフやロープワークを習得する。
⑥	11/10	バックパッキング	ザックを背負って山へ行こう。
⑦	11/11	～山旅～	
⑧	12/9	サバイバル術 2	食べることは生きること、について考える。
⑨	1/26	冬のファイヤーキャンプ	冬の野営体験
⑩	1/27		

講師コメント

- 普段やりたくても、一人じゃできない、一歩が踏み出せないと思っている子が多いはず。大きなチャレンジはできなくても、小さな一歩なら踏み出しやすい。そんな小さな成功体験の積み重ねは、やがて大きな壁を乗り越える礎となるはずです。
- これらの体験を通して子どもたちは、自分がいつも大人に守られていたり、自分自身のつくった安全圏の中でのみ動いていたことに気づきました。
- 楽しいと言うより、ハラハラの方が強かった子も何人かいたようですが、思っていたよりも自分が強いことがわかったとき、心に大きな変化が現れました。「自分は、やればできる」という自覚です。
- これから先、あきらめる一歩手前で踏みとどまり、自分の持つ可能性を信じて、再び歩き出してくれるような人になってくれることを望みます。その一助になっていたとしたら、ささやかな効果があったといえるでしょう。



参加者感想

- 火起こしの最初の点火が大変だった。
- チームワークや協力が必要だと思った。ごはんを作るのは大変だと思った。
- テントを立てることだけにすごく時間が掛って大変だった。

